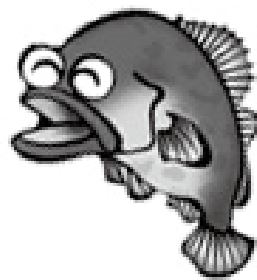


まちの わだい

My Town Topics



新年初出動 —消防団が出初式を挙行—



1月5日(日)、若もの広場で町消防団訓練出初式が厳粛に執り行われました。

出初式には、消防団員と婦人防火クラブ員計89人が参加。来賓や各地区の区長・自主防災会長が観覧する中、全国の殉職者に黙祷を捧げたあと、長年勤続した団員が表彰されたほか、退団者に感謝状が贈られました。

また、松本町長が「昨年は、関東方面で記録的な大雨が多発し、台風19号では各地で大雨特別警報が発令され、河川氾濫等の甚大な被害が発生しました。消防団員の皆様、町の消防防災のさらなる強化と、町民の安心・安全な生活を確保するために、ご協力をお願いします」と式辞を述べると、直川消防団長も「地域防災力の中核となり、火災のみならず、あらゆる災害から町民の生命・財産を守り抜くよう、一層、精進して参ります」と謝辞を述べ、災害から町民を守るため、一層の奮起を誓いました。

志賀小前で啓発 —わかやま冬の交通安全運動—



「わかやま冬の交通安全運動」実施期間中の12月3日(火)、志賀小学校前の県道において日高町交通指導員会(北垣順一会長)が御坊警察署の協力のもと、啓発活動を実施。この日は指導員9名のほか松本町長、田中副町長らも参加して、安全運転を呼び掛けました。

消防団が年末警戒を実施 —町長らが団員を激励—



12月25日(水)から6日間にわたり、日高町消防団による年末警戒が実施されました。

初日のこの日は、松本町長をはじめ直川消防団長、芝議長、田中副町長、富安県議会議員、塩路総務政策課長らが警戒にあたる団員らを激励するため、3分団それぞれの待機所を訪問。松本町長より激励の言葉が贈られると、団員らは、早速消防車に乗り込み、地域の巡回に出動しました。

交通ルールを学ぼう —保育所で交通安全教室—

12月3日(火)、日高町内の3つの保育所合同での交通安全教室が内原保育所で開催されました。

教室では和歌山県警察本部交通企画課の安全教育係(通称：ひまわり隊)が中心となって指導を行い、園児たちは歩道の右側を歩くことなどを、歌や踊り、人形劇を交えてしっかりと勉強しました。

また最後には和歌山県警察のマスコット「きしゅう君」が登場。園児たちはきしゅう君と、交通ルールを守り飛び出さないこと、知らない人にはついて行かないことを約束しました。



12月12日(木)、内原小学校(川端浩次校長)において、酒井利夫さんや山崎進さんらをはじめとした地域の方々や保護者の協力のもと、餅つきが実施され、5年生児童39人が挑戦しました。

児童らはグループで分かれて、餅をつく係と、出来上がったお餅を手で丸める係を順番に体験。餅つきでは昔ながらの杵を使い、みんなでかけ声を掛けながら、慣れない手つきで振り下ろしていました。

この日使用したもち米は、酒井精さんの水田を借り、児童らが田植えと稲刈りをして収穫したものです。児童らは初めて持つ杵の重さに苦労しながらも、美味しそうにできたお餅に大満足の様子でした。

初めての餅つきに挑戦
—内原小・餅つき—

みなさんで食べてください —比井小・お米寄付活動—

12月17日(火)、比井小学校(古川悟校長)の児童らが、ひだか博愛園みちしおに自分たちで作ったお米50kgを寄付しました。

この日は比井小学校から山本彩世さん(5年)、田口新温くん(5年)が先生と共に博愛園みちしおを訪問。「比井小の2年生・5年生が地域の人たちに手伝ってもらって作ったお米です。みなさんで召し上がってください」と話してお米を寄付し、デイサービス利用者を代表して土佐ヌイさんが受け取りました。土佐さんは「食べるのが楽しみ。おいしくよばれます」と話していました。

